

授業科目名	介護総合演習Ⅰ		科目コード	1024	
開講クラス	介護福祉学科	コース	介護福祉士コース	学年	1年
担当教員	廣澤 三保子				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)				
開講時期	前期・後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1単位	
使用 テキスト1	書 名	最新・介護福祉士養成講座『介護総合演習・介護実習』			
	著 者	秋山 昌江 他			
	出版社	中央法規出版			
使用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	見て覚える！ 介護福祉士国試ナビ				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を通し、介護福祉士に求められる役割と機能を理解し専門職としての態度を養う。実習の教育効果を上げるため、 ・実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。 ・介護実習の意義・目的を理解し、介護実習Ⅰの枠組み（目的・内容・実習先等）について学び、実習に求められる視点を理解できる。 ・各施設・事業所での介護福祉士としての役割を明確にし、説明できる。 					
<p><授業の概要・授業方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護実習の意義や実習Ⅰ・Ⅱの位置づけを学習し、対象の生活の場、対象についても理解を深め実習Ⅰ・Ⅱに臨む準備を進めていく。 					
<p><成績基準・評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する。前期試験の総合評価により単位認定。評価基準：100点法で60点以上の成績をもって合格とする。 					
<p><使用問題集・注意事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家試験過去問 					
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア、施設見学、(施設・在宅)介護実習 					

授業科目名		介護総合演習Ⅰ	
回	授業内容		備考
1	オリエンテーション/シラバスの説明/介護総合演習の位置づけ		
2	知識と技術の統合～介護実習の意義と目的/種類の理解		
3	実習施設の理解(介護老人福祉施設・介護老人保健施設)		
4	実習施設の理解(介護老人福祉施設・介護老人保健施設)社会資源との関わり		
5	実習施設の理解(障害者支援施設)		
6	実習施設の理解(障害者支援施設)社会資源との関わり		
7	介護実習Ⅰの心構え・全体像の把握		
8	介護実習Ⅰの心構え・全体像の把握		
9	介護実習記録の意義と方法/個人票作成・見学実習の意義・目的		
10	介護実習記録の意義と方法/個人票作成・見学実習の意義・目的		
11	介護実習記録の意義と方法/介護実習記録の書き方 個人情報の取り扱い		
12	介護実習記録の意義と方法/介護実習記録の書き方 個人情報の取り扱い		
13	介護実習Ⅰの実習関係書類の作成/実習目標立案		
14	介護実習Ⅰの実習関係書類の作成/実習目標立案		
15	介護実習Ⅰ反省会/お礼状作成		
16	介護実習Ⅰ反省会/お礼状作成		
17	実習振り返り～実習まとめ	報告書類作成	
18	実習振り返り～実習まとめ	報告書類作成	
19	実習振り返り～実習まとめ	報告書類作成	
20	実習振り返り～実習まとめ	報告書類作成	
21	実習振り返り～実習まとめ	報告書類作成	
22	実習振り返り～実習まとめ	報告書類作成	
23	実習報告会練習		
24	実習報告会練習		
25	実習報告会	学びの共有	
26	実習報告会	学びの共有	
27	実習報告会	学びの共有	
28	実習報告会	学びの共有	
29	介護実習Ⅱにむけて		
30	介護実習Ⅱにむけて		